

広報たしる

No. 347

昭和57年7月号

田代町総務課編集

1,500部発行



夏・本番!!

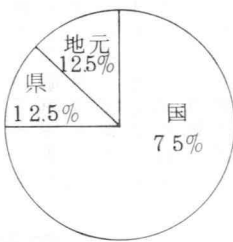
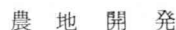
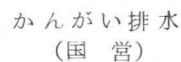
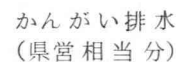
照りつける太陽の下、しぶきを上げて元氣よく泳ぐ。

水泳に限らず、健康な汗を流し、皮膚を強くできるいい季節です。夏バテ、夏に弱いと弱音をはかず、子供達と一緒に夏に負けないよう元氣よくすごしてみましよう。

暑い季節だけに健康管理にも十分注意してください。冷たい飲物のとりすぎ、冷房や扇風機のかげばなし、寝冷えなど十分気をつけてこの夏を快適にすごせるよう家族一緒になって取り組んで下さい。

また、旅行等楽しい計画を立てる時には無理のない余裕のある内容でありたいものです。特に車による遠出などは暑さ、車量の増加等交通事情に十分注意し、事故のない楽しい夏をすごせるよう、皆で考えてみましょう。

(県営相当分)
かんがい排水
(団体営相当分)



事業費の負担額分（一般例）

事業費のほとんどは国と県で負担しますが、一部は農家負担になります。

事業費の負担額分
(一般例)

受益者負担金償還の方法

① 農地開発事業

② かんがい排水事業

③ 区画整理事業

工事期間	償還期間 15年
------	----------

肝属南部開発推進員三十三名を次のように委嘱し、事業参加の同意取得の体制ができました。みなさんのお宅を、推進員の方々が回られますか

肝属南部開発推進員を委嘱！

ら、わからない点は良く話を聞き、理解を深め、全員協力して事業に参加し、町の農業振興と住みよい郷土を、子供たちに残しましょう。

と 業 農 な う か 豊 で 発 開 地 農 合 総 営 国
 ！ 築 こ 豊 で 土 郷 る あ 力 活

田代町肝属南部開発推進協議会

7月から推進員が受益予定者のお宅をお伺いしますのでよろしくお願いします。

農地開発で農業所得の

向上を!!

事業の目的

南隅四町の農業所得の大幅な増加と安定を図るため、農地開発と既耕地の整備を行います。

事業の内容

開発可能な

開発可能な山林原野を畑に拓くとともに、ダムを造り各団地へ導水し、末端は場まで配水します。

既耕地につき

○かんがい排水施設を整備しますので干ばつを防ぐとともに滴期作付が可能となり計画的な栽培出荷ができます。

○畑地かんがいによって収量の増と品質向上が期待できます。

宮農の内容

造成される農地は、原則として地元農家の規模拡大にふりむけ、既耕地と併せた一戸当りの農業粗収入を、八〇〇万円以上として、下表のような営農類型が考えられます。

※農地開發で後継者のいる豊かな郷土をつくろう！

農家の概要

項目 \ 地域	全 国	鹿 兒 島	大 根 占	根 占	田 代	佐 多
農 業 所 得	1,087	887	1,447	892	892	882
耕 地 面 積	1.17	0.84	0.85	0.89	0.84	0.76

営農類型	経営規模	労働力	備 考
生産牛 ＋ 輸送やさい	普通畑 250a 水 田 50a	2.5 人	生 産 牛 10 頭 甘 し ょ 90 a キヌサヤエンドウ 20 a サトイモ 70 a 大 根 100 a 早期水稻 30 a
タバコ ＋ 露地やさい ＋ 生産牛	普通畑 160a 水 田 40a	2.5	タ バ コ 100 a 大 根 140 a 甘 し ょ 40 a 水 稲 30 a 生 産 牛 4 頭
生産牛 ＋ 露地やさい	普通畑 300a	2.5	生 産 牛 23 頭 大 根 14 a カボチャ 51 a
生産牛 ＋ 花 卉 ＋ 露地やさい	普通畑 200a	2.5	生 産 牛 10 頭 キヌサヤエンドウ 10 a にんじん 40 a 夏 ギ ク 30 a 秋 ギ ク 30 a 秋ばれいしよ 20 a
茶 ＋ 生産牛	普通畑 50a 水 田 30a 樹園地 200a	2.5	茶 200 a 水 稲 30 a 生 産 牛 5 頭

販売計画

作物を生産しても「はたして有利に販売できるか」ということが問題です。農産物の

販売には生産技術の統一による、品質向上や、コストの引き下げを行い、「良い品物」を計画的に出荷し、市場名柄の確立を図り、市場の信頼を得ることが重要です。そのためには、国の野菜指定産地制

度等の積極的な活用、ならびに農協農産物加工場と契約栽培することによって価格も保障され、安心して生産販売ができます。

また、肝属広域営農団地農道が整備されたり、志布志港からのカーフェリーの就航や流通施設の近代化など流通条件も整備されつつあり、明日の農業に期待がもてます。

関 係 町	大根占町	根 占 町	田 代 町	佐 多 町	計
農地造成予定面積	460 ha	220 ha	400 ha	140 ha	1,220 ha
既 耕 地 予 定 面 積	440	250	220	110	1,020
計	900	470	620	250	2,240

資 金 名	年 利 率	償還期間	融 資 限 度 額
未 懸 地 取 得 資 金	3.5%	3年据置 25年償還	個人 500万円 法人 2,000万円 法人（特認） 5,400万円
農 地 等 取 得 資 金	3.5%	3年据置 25年償還	個人3,000万円 法人 9,000万円 （公社あっせんの場合）

用地の取得
○ 開発予定

○農地開発用地は、事業参加者が自分で調達することになっています。

○用地調達資金に対する補助はありませんが、次の融資制度が利用できます。

御存知ですか!!

子牛は体重によって値段が違います。

(去勢子牛は 260Kg ~ 290Kg が割合に高く売れます。)

出場時体重	出場頭数	平均価格	価格差
Kg	頭	円	
210~219	1	177,000	—
220~229	8	195,250	18,250
230~239	11	203,818	8,568
240~249	12	217,166	13,348
250~259	27	245,074	27,908
260~269	30	263,000	17,926
270~279	19	267,736	4,736
280~289	19	269,842	2,106
290~299	6	289,166	19,324
300~309	4	278,500	△10,666
310~319	5	287,800	9,300
320~329	4	282,750	△5,050
合 計	146 頭	251568 円	

※ 子牛の生産奨励金の交付について

子牛生産農家に生産奨励金が支払われます。

- (イ) 生産奨励金 10,000 円 (せり市に出場した全子牛)
- (ロ) " 15,000 円 (せり市で売った子牛のみ)
- (ハ) 基金協会価格差補転金 (300 貫を割った場合差額の 90 %)



左表 参考資料

- (イ) 6 月の子牛せり市去勢子牛の体重別価格表です。
- (ロ) 特に 260Kg 以上の子牛は月令に関係なく高く売れます。
- (ハ) 農協の肥育センターでは 260Kg 以上の子牛を好んで買っています。

町税納付率

前年度を上回る好成績
昭和五十六年度分として、
町民のみなさんに直接課税い
たしました町税は、
△軽自動車税 二七九二八五〇円
△町県民税 四六五一八一四〇円
△固定資産税 三五七九〇五〇円
△国民健康保険税 七三三〇四八五〇円
△合 計 一五八三九四八九〇円
ありましたが、納税者各位の
税に対する深いご理解と、部
落役員の方々の心からの協
力で前年度を上回る好成績で
決算を行うことができました。
その結果は「別表」部落別
納付状況のとおりであります
が三十九部落中、三十二部落
はすべての税が百パーセント
完納であり心から敬意を表し
ます。七部落につきましては、
百パーセントに達してござい
せんが、五十七年度分こそ年
度内百パーセント完納を目標
し納税者一人一人の理解と
協力をお願いし、全部落百パ
ーセント完納を期待します。
なお、この結果については、
今後、町監査委員の決算監査、
町議会決算特別委員による決
算審査を経て町議会の決算認
定に付することになります。

町税納付状況部落別一覧表

(昭和56年度分決算)

区 分 部落名	軽自動車税		町県民税		固定資産税		国民健康保険税		合 計		順位
	滞納額	納付率	滞納額	納付率	滞納額	納付率	滞納額	納付率	滞納額	納付率	
下		100	100		100		100		100		1
馬 場		100	100		100		100		100		1
東 ノ 原		100	100		100		100		100		1
長 谷		100	100		100		100		100		1
西 中 郡		100	100		100		100		100		1
東 中 郡		100	100		100		100		100		1
橋 ノ 口		100	100		100		100		100		1
中 村		100	100		100		100		100		1
山 下		100	100		100		100		100		1
岩 崎		100	100		100		100		100		1
表 木		100	100		100	12,000	99.7	12,000	99.8	33	
折 小 野		100	100		100		100		100		1
山 ノ 口		100	100		100		100		100		1
西 大 原	10,850	90.5	100	1,420	99.8	21,460	99.1	33,730	99.1	36	
東 大 原	2,150	97.3	100		100	36,430	97.8	38,580	98.3	37	
中 尾	700	97.6	100	4,100	98.9	236,350	77.5	241,150	83.9	39	
新 田		100	100		100		100		100		1
内 ノ 牧	1,450	96.1	100	3,180	99.0	101,440	93.4	106,070	94.6	38	
重 岳		100	100		100		100		100		1
鶴 戸 野		100	100		100		100		100		1
久 木 野		100	100		100		100		100		1
盤 山		100	100		100		100		100		1
富 田		100	100		100		100		100		1
平 石		100	100		100	8,100	99.8	8,100	99.8	33	
柴 立		100	100		100		100		100		1
上 柴 立		100	100		100		100		100		1
上 原		100	100		100		100		100		1
原 沢		100	100		100		100		100		1
池 野		100	100		100		100		100		1
瀬 戸 口		100	100		100		100		100		1
猪 ケ 倉		100	100		100		100		100		1
鳥 渕		100	100		100		100		100		1
早 瀬		100	100		100	35,510	98.8	35,510	99.2	35	
郷 ノ 原		100	100		100		100		100		1
辺 志 野		100	100		100		100		100		1
鶴 園		100	100		100		100		100		1
麓 住 宅		100	100		100		100		100		1
大 原 住 宅		100	100		100		100		100		1
営 林 署 住 宅		100	100		100		100		100		1
町外・その他	14,350	82.9	100	5,330	99.9	76,210	94.6	95,890	99.2		
計	29,500	98.94	100	14,030	99.96	527,500	99.28	571,030	99.64		



『第十七回MBC派米高校生に田代町の川前康博君選ばれる。』

これは全国から選抜された農業青年（鹿児島県からは十二名）がアメリカで農業研修を行なうというものです。これからの田代町農業の発展のために、大きな土産を持ち帰ってもらえるよう期待したいと思います。



『第十七回派米農業研修生に田代町の川路俊浩君選ばれる。』

社団法人「農業研修生派米協会」主催による派米農業研修生に田代町の川路俊浩君が選ばれ、六月二十七日より約二年間の農業研修に出发されました。

睡眠で測る健康度

健康だより

MBC（南日本放送）が明治百年記念事業として実施している派米高校生に県下各高校の中から今年も十四人が選抜され、アメリカ合衆国で約一ヶ月間の生活を送ることになりました。この中に田代町の川前康博君も選ばれ、七月二十日アメリカへ向けて出発されるということです。大いに見聞を広めてもらいたいものです。

快食、快便、快眠は健康の条件と言われます。人は一生の間に一日八時間眠るとして、七十五才迄生きるとすれば、その三分の一、二十年間は眠って過ごすことに、重い、大なものとなります。しかし中にはやれ、寝つきが悪い、夜中に始終目がさめる、朝の目覚めが悪いと言ったことを訴える人は五人に一人位いると言われます。成人の睡眠時間は八時間が標準とされていますが時間の長さではなく、深さも問題で睡眠の量は深さと時間の積によって示されます。

ホームページ上では

十時間眠ったと言ってもぐっすり眠ったのではなければ、十分に眠ったとは言えません。眠る時間が短かいのであれば、深さを深くする熟睡できる条件を考え、実行できれば良いと思います。又朝の目覚めが悪いと言うのは、睡眠が十分にとれなかったと言うより、その時の体の気分や感じ方にも問題があると思います。とにかく毎日毎日一定の睡眠を十分に取る事が大事です。そこで深く眠る為の条件として眠る前にいかなる思いをしない夫婦げんか等は昼の間に済ませ寝る前にはしない。寝る前の入浴や軽い体操などもよいでしょう。又少量の寝酒も有効です。寝具も大事です。眠っている間に平均二十回、三十回は寝返りをうつと言います。体が自由に動けるような余り重くもないもの、肌ざわりの柔らかいもの、ふかふかしすぎでないものなどがよいでしょう。これから暑くなるので、夜を迎える季節です。自家にあった工夫で快適な睡眠をとる事が長きに欠く事のできる重要な条件であると思います。さあ今日から実行に努めましょう。

人口のうごき		
基本台帳人口 57年6月1日現在	前月との増減	
男 2,174人	△13人	
女 2,841人	5人	
計 4,515人	△8人	
世帯数 1,475戸	2戸	

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

（篤志寄附金）

田代町社会福祉協議会

さきに逝去された御遺族より、当社会福祉協議会へ多額の御寄附を戴きました。故人の御冥福をお祈り申し上げると共に厚く御礼申し上げます。

折小野ミヨ子 様

セールスマンがお宅に来たら

訪問販売を受けたときのご注意

◎まず販売業者の氏名又は名称、商品の種類を聞きましょう。

- 1 その商品が本当に必要かよく考えてから契約しましょう。
- 2 必要がなければ勇気をもってことわりましょう。
- 3 契約（又は申込み）をした時は、書面を渡されます。
- 4 内容をよく読んで確認したあとで印鑑を押しましょう。
- 5 現金販売の時は、領収書が渡されます。大切に保管しましょう。



◎クーリング・オフ制度をご存知ですか。



契約した商品が本当に必要か冷静に考え直す期間（4日間）です。4日間以内なら契約の解除（又は申込みの撤回）ができます。解除（又は撤回）をする時は電話でなく書面（できれば内容証明郵便）で申し出ましょう。

◎クーリング・オフができない場合があります。

1. 代金を全部支払ったとき。
（商品を受け取り、代金を全額支払ったもの。）
2. 化粧品など消耗品で消費すればクーリング・オフができなくなる旨を告げられた場合において一部消費したもの
3. 乗用自動車



◎ご存知ですか訪問販売員登録制度



1. 社団法人日本訪問販売協会では訪問販売員の資質の向上を図るため、登録制度を設け、逐次、業種ごとに訪問販売員に「教育登録証」を発刊します。
2. 通商産業省もこの制度の充実を指導しています。

●訪問販売に関するご相談は都道府県や市(区)町村の消費生活センター、通商産業局消費者相談室などへ。

通商産業省

金の取引には注意しましょう!!

教育だより

実りのあつた

修学旅行

今年も、三年生七十九名は熊本、長崎への修学旅行に五月二十日から二泊三日で行ってきました。

目的は、学校で学習したことを実際に見聞することでした。また、友だちや先生方と寝食を共にし、友情を深め、集団行動などを身につけることでした。

母の愛

田原 まり子

私が印象的だったところは、長崎の国際文化会館でした。特に、ガイドさんの話に感



シンケンナマナザシノ

田代中学校

動しました。

「八月九日、十一時二分一人の小さな女の子が、何かに足をさされました。両親とも畑に出かけていて、子どもたちだけでは、どうしようもなかった。通りがかりのおじさんに頼んでも、びくともしなかった。そこへ、母親が帰ってきた。おじさんにはできなかったのに母親にはできた。母親の姿を見たとき、母親の服は、焼けて全身にやけどをおつていた。子どもを助けるために使った肩は、皮がはがれていた。そして、苦しみながら、死んでいった。」

国際文化会館には、原爆が落ちたときのようすや着ていた人々の服、写真いろいろありましたが、その中でも印象的だったのが、十一時二分をさしたまま止まっていた時計でした。戦争さえなければ、こんなことにならなくてよかったのと思います。また、この平和がいままで続くようにと思います。

歯の衛生週間

六月四日は、虫歯予防デーでした。それにちなんで、生

徒会の保体部では、各クラス呼びかけて、ポスターコンクールをしました。優秀作品の一つを紹介します。



イタイヨー・ミガコウネ!!

野鳥を呼ぼう

きれいな色の装飾羽を持ち陽気にさえずる小鳥は、わたしたちの心をなごましてくる。

本校では、優しく豊かな心、自然を愛する心を育てていくことという事で、愛鳥週間にちなんだ行事を計画した。五月十日・二十三日の期間を設け、ゆとりの時間を利用して、一・二年生が愛鳥の作文や絵、三・四年生が愛鳥の作文、五・六年生が巣箱作りを行った。

虫歯をなくそう

六月四日は虫歯予防デー。本校では三校時に、虫歯をなくそうということで、歯についての指導を行った。

まず、体育館に全校児童が集まって、歯の大切さ、虫歯のこわさ、食べ物と虫歯等についてスライドを見ながら学習した。

山本教諭が歯のみがき方についての指導。虫歯などみずみまでみかくにはどうすればよいか、実際にハブラシを手にしてみがき方の学習を深めた。

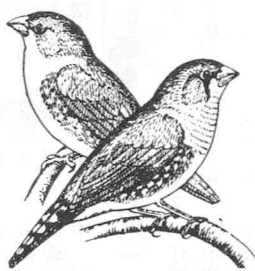
大原小学校

れた「緑の少年団」も取り組んできた。

五・六年生の子どもたちは、ノコで切ったり、くぎづけしたり、いっしょうけんめいでした。でき上がった巣箱は子どもたちの手で「小鳥の森」に設置しようと計画している。大原にはまだまだたくさん種類の野鳥がいる。しかし案外子どもたちに限らず、だれしもどんな鳥がどんな生活様式をしているかなどはとらえられていないようである。これを機に、野鳥を呼び、



ミンナ ナカヨク ゴシゴシ!!



愛鳥精神を育てていく第一歩をふみ出したところである。

社会教育関係諸団体役員紹介

昭和五十七年度も三ヶ月が過ぎ、諸社会教育関係団体の事業が進行しています。諸団体の役員さんを紹介いたしますので町民の皆様方のご協力をお願いいたします。

。PTA連絡協議会並びに校外生活指導連絡会

会長 袖山 勝八
副会長 栗脇 孝
書記 加治屋 休

。婦人会連絡協議会

会長 右田 睦子
副会長 小川 ノリ
書記 西野 裕子

。連合青年団

会長 橋口 達郎
副会長 安田 憲次
副団長 林 直子

。子ども会育成連絡協議会

書記会計 牛牧 芳江
会長 中村 義雄
副会長 正木 敏之

。文化協会

会長 南園 忠男
副会長 岩崎 美義
書記会計 山下イツ子
岩崎 美義

。体育協会

会長 右田 始
副会長 池田 一雄
書記会計 中村 睦郎

。老人クラブ連合会

会長 鶴園 末吉
副会長 岩崎 美義
書記会計 小園 義美

。高校生父母連絡協議会

会長 久保 幸雄
副会長 鶴田 武男
書記会計 小長野良一

諸団体の今年の活やくを期待します。

社会教育諸学級

講座開始

今年度教育委員会が主催する社会教育の諸学級・講座・教室が五月から六月にかけて開講しました。

激動する社会の変化に対応できるようにと、町民の学習意欲が年々高まりつつあるようです。

◎開校し、学習が進んでいるもの

- ・田代小学校家庭教育学級
- ・大原小学校家庭教育学級
- ・麓 婦人学級
- ・川原婦人学級

・麓 高齢者学級

・川原高齢者学級

・大原高齢者学級

・青年仲間づくり教室

◎今後開講予定のもの

・習字教室(七月)

・郷土学習教室(七月)

・着付教室(麓・川原)

・生活改善教室(花瀬)

・編み物教室(大原地区)

・バドミントン教室

・ミニバレー教室

・健康づくり教室

学習内容や受講生の募集については、「社会教育だより」や広報無線でお知らせします。町民のみなさん方の積極的なご参加を期待します。

学習意欲旺盛

麓・川原地区の婦人学級では、本年度二回目の学習会が「さし木のしかた」について学習した。根占改良普及所の山下征任先生の指導のもと、草木のほとんどがさし木でふやせることや草木の育つ環境条件などの理論的なことを学習したあと、実際に草木の枝を切り、さし木の実習をしました。さし木について次から次に山下先生への質問がとび出し、学習意欲の高まりが感じられました。

かごしまの子ども朝よみ

夕よみを推進しよう。

。規律正しい生活と読書習慣を身につけます。

。語りが豊富になり、表現力や文章力が養われます。

。地域連帯感が生まれます。



真剣なまなざしで

学級生は持ち寄った草木をポリハチにさし木し、各家庭に持ち帰って育てることにしました。花の咲く頃が楽しみです。

花いっぱい運動

花の手入れを!!

町内のあちこちに花いっぱい運動の花が咲き始め、道ゆく人々の目を楽しませてくれ



グッドアイディア

児童生徒の水難事故防止運動強調期間

七月一日(木) 七月二〇日(火) 準備期間
七月二十一日(水) 八月二十一日(火) 実施期間

第20回郡民体育大会結団式挙行



力いっぱいがんばります!!

第20回肝属郡民体育大会が
串良町において、七月十八日
日曜日（雨のとき、七月二十
五日）に開催されます。
私たちの田代町では、この
大会に向けて、去る六月十二
日（土）派遣選手結団式を行
いました。今年は、10競技に
延べ二〇四名の選手団を編成
し、上位進出をねらっていま
す。

式では、選手を代表して大
寺和久さんが力強い宣誓をし
大会へ臨む決意を表明してく
れました。又、各競技責任者
が壇上で選手一人ひとりを紹
介、抱負を発表しました。続
いて、町長が各選手と握手を

して激励しました。厳肅な中
にも和やかに式を終りました。
選手の皆さんのご健闘とご
活躍を期待します。なお、各
競技会場は、つぎの通りです。
応援をおねがいします。

※ 各競技会場

- ゲートボール 串良小学校
- 排球 串良町運動公園
- 庭球 串良中・串良商業
- 卓球 串良町民会館
- 剣道 細山田小学校
- 弓道 若松弓道場
- 柔道 串良商業高校
- 陸上 串良町運動公園

野球連続優勝

ソフトボール準優勝



第20回郡民体育大会野球・
ソフトボール南部大会が、六
月二十六日行われました。そ
の結果、野球は三年連続優勝
ソフトボールは、準優勝でし
た。

今年の大会は、根占・大根
占町を会場にして、晴天に恵
まれ、絶好のコンディションで
行われました。

野球は、一回戦で根占町と
対戦し11対4で楽勝しました。
続く決勝戦は、佐多町と対戦
し、五回まで0対0の緊迫し
たゲームを展開した。六回の
表走者を二塁において、五番
打者上野がレフトへタイムリ
ーヒットを打ち、貴重な一点
を入れた。1対0で勝った。
ソフトボールは、一回戦で
佐多町と対戦し8対4で昨年
の雪辱を果し、決勝戦で根占
町と対戦し、終始押しゲーム
を展開したが、2対1という
きん少差で惜敗した。

今年の郡体は、幸先のよい
スタートをきりました。七月
十八日の本大会での残る八競
技のご活躍を期待します。

なお、野球は県民体育大会
への出場権をかけた肝属地区
大会が控えています。昨年同
様肝属地区代表として県体出
場が期待されています。

小組合運動会

西大原

第三回西大原小組合運動会
が、去る六月二〇日（日曜日）
大原小学校校庭で行われま
した。

今年は、第三回目というこ
とで大会運営がたいへん順調
に行き、予定時刻通りに進ん
だ。競技種目もよく検討され
て、なごやかな雰囲気の中で
笑い声があちこちからあ
こった。特に、なわねり競争
班別ナノコ大会・丸太切りな
どの種目は、昔の生活を題材
に取り、たいへんユーモラス
な競技であった。

西大原地区では、このよう
な大会を催すことによって、
地域の連帯意識を高め、積極
的に村づくりに取組んでいる。



仲よく力合せて丸太切り

南部婦人幹部研修会



熱心に聞く会員

肝属地区南部婦人幹部研修
会が、六月十四日、田代町開
発センターで開催されました。
今年のテーマ「青少年の健
全育成は家庭から」に関連し
て、四人の発表がありました。
それぞれの発表者が、最近
の青少年問題を敏感に受け留
め、母親としての務めを積極
的に果そうとする意気込みが
感じられました。

続いて、肝属教育事務所の
指導主事早水秀久先生の講演
を聞き、学習を深めた。

さいごに、四町対抗の小運
動会を実施し、実りある楽し
い研修会を終りました。

青少年の

健全育成は家庭から